



Vol.10

綾ユネスコエコパークまちづくりネットワーク協議会紹介

綾の地域猫

(阿久根麻由代表 4人)

「地域猫活動」とは、野良猫を地域の皆さんや行政などが協力して「地域猫」として適切に管理し見守ること、猫が地域と共生できることを目指す活動です。

野良猫が多い地域では、ゴミが荒らされたり子猫が激増したりするなど、思いがけないトラブルが起こることがありますが、もとは人が飼うことを放棄したことから始まっています。そして野良猫の命も、私たちと同じように大切な命だということを忘れてはいけません。そのため、地域環境の改善だけでなく動物愛護の観点からも、日本各地で地域猫活動が広がっているのです。

私たちは団体設立から2年間、各自治公民館に協力を呼びかけて野良猫を捕獲し、みやざき動物愛護センターに搬送、去勢避妊手術をして地域に戻すという活動を続けてきました。チラシなどを使って住民の皆さんへ地域猫とのかかわり方のポイントなどをお知らせする取り組みも行っています。

最近では地域猫への理解が深まり、個人で野良猫を県動物愛護センターに搬送する人も増えてきており、綾町に「結い」のつながりがある

ことをとても心強く感じています。このように、綾町での地域猫活動に一定の道筋がついたため、私たちの団体活動は無理のない範囲で継続していくことにしました。人も猫も幸せに暮らせるように。引き続き、地域猫に対するご理解とご協力をお願いします。

なお、個人で野良猫を捕獲し県動物愛護センターに搬送する場合には、所定の申請書に必要事項を記入し、センターに電話予約(☎84・2600)をしてください。また、不妊去勢手術の翌日は、猫の引き取りをお願いします(午前中)。猫専用捕獲器の貸し出しもできます。

■申請方法・捕獲器などについての問い合わせ先

町民課生活環境係
☎77・3465

耳の先端が
カットされているのが
地域猫の目印です。



綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター

☎77-3482 URL <https://ayabrcenter.jp>

※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館
休館などの情報はホームページで随時更新します

Column

ヤマネ

森の中にすむ、リスでもネズミでもない小さな哺乳動物。ふさふさしたしっぽに、背中の黒いラインが特徴のヤマネです。日本の固有種で、国内には1属1種しかいないため、国の天然記念物に指定されています。

暖かい季節の夜には、森の中で樹木の上を動き回り、花の蜜や果実、昆虫などを食べています。秋から冬にかけて気温が10度近くまで下ると、樹木の洞や鳥の巣箱などにコケなどを敷き冬眠します。冬眠中は丸くなって仮死状態になるため、「マリネズミ」とも呼ばれています。かわいい姿ですが、許可なしには触れないほど貴重な動物ですので、見つけてもそっとしておいてくださいね。

